

かけがえのない上越



榆井辰雄

“政治家”としてだけではなく
“人として”地域のために尽くします。

地震復興のため全力で取り組んでいます

中越沖地震復興への 補助率90%実現へ。

原油価格急騰は県民生活を直撃しています

生活保護世帯へ、 5,000円の灯油購入費助成。

行政と市民との共生を提案

地元の力を活用した 歩道除雪と河川管理へ。

日本の、新潟県の、食のために

農業政策への提言を行う。

自民党議員団、米政策プロジェクトチーム

「生産調整」「産地づくり交付金」「農地・水・環境政策」
「バイオマスの推進」「地域農業の担い手」
「食料自給率向上」などで緊急提案を行う。



ごあいさつ

昨年は大変お世話になりました。
町長から県会議員となり、とまどいながらも精一杯活動してまいりました。私たちを取巻くさまざまな状況が「偽」から「信頼」へと転換するよう、また「言葉の説明責任」と「発言の重み」をかみしめながら、これからも一生懸命頑張っていきます。



ホームページにブログ開設しました。

<http://www.nirei.jp>

“ふるさと”上越や新潟県をもっと輝かせたい。

[新潟県議会一般質問より抜粋]

ワンストップ相談窓口
の充実を

自然災害について

Q. 原子力発電所災害時には、現在の防災計画で定める半径10km以内の防災対策重点地域を、もっと拡大する必要があるのではないか。

A. 防災対策重点地域の範囲は国の原子力安全委員会が策定した「原子力防災指針」が定める最大範囲の10kmを採用しており、範囲の拡大には国との調整が必要です。

Q. 今回の原子力発電所災害時、柏崎・柿崎からの3避難ルートは、一時通行止めになった。柏崎から上越への山越えルートを防災上確保することや、外国語による避難経路の案内が必要ではないか。

A. 避難経路整備の必要性について関係市町村から意見を聞いていきたいと考えます。また、外国語による案内看板は今後の整備の進め方について地元と協議していきます。

Q. 地籍調査により土地境界を明確にすることは重要で、特に過疎化が進む山間部では個人の地籍の確認など困難になる懸念があり、国、県が積極的に推進すべきと考えるが今後どう対応するのか。

A. 地籍調査の推進についてであります。調査は、公共事業や災害復旧事業を円滑に進める上で重要な調査であります。国のモデル事業なども活用しながら、事業主体である市町村との連携を深め、着実に推進してまいりたいと考えております。



農村集落排水事業
80%補助

市町村合併について

Q. 合併後の市町村のまちづくりに対する県の支援について。

A. 市町村が自立的に経営していく体制が取れるまでのサポートが必要であり、支援は市町村の実状に応じて変えていく、また今後市町村からの声を直接聞いていきたいと考えます。

Q. 合併後の市町村ではNPOや自主的組織、積極的な住民参加によるまちづくりが進められているが、県は今後どういう支援をおこなっていくのか。

A. 地域づくりに有益な人材の派遣や資金的な援助も含め、必要な支援を行っていきます。

農林水産業について

Q. 農業が持つ国土保全・治山治水機能について、また今の低米価と生産調整の強化や農地水・環境対策について知事はどう評価しているのか。

A. 農業は県土の保全や水源のかん養のほか、うるおいの場であり、県のイメージアップなど多くの重要な役割を果たしています。現状は米農家にとって非常に厳しい状況が続いており、販売にも力を入れながら農地・農村地域の維持保全に全力を傾注していきます。

Q. 農業の後継者育成について、若者が新規農業参入を目指すことができる仕組みと自立への支援が必要ではないか。

A. 後継者不足の現状、意欲ある若者が自立できるよう、受入農家などの意見も踏まえてより効果的な仕組みや支援策を検討していきます。



一年の苦勞が
報われる実りの秋へ

ホームページに
ブログ開設しました。<http://www.nirei.jp>

にれい辰雄後援会 〒943-0804 上越市新光町1-6-11

TEL.025-522-8166
FAX.025-522-8167

この用紙は再生紙を使用しています。